



あけまして  
おめでとうございます

広島ユネスコ協会ホームページをご覧ください  
(<http://www.unesco.jp/hiroshima/>)

Eメールで情報提供を  
([hiroshima@unesco.or.jp](mailto:hiroshima@unesco.or.jp))

# ユネスコ精神の実現にたゆまぬ努力を

## 協会結成三十周年記念にあたって

広島ユネスコ協会会長 北川 建次



二〇〇三年、平成十五年は、広島ユネスコ協会結成三十年の記念すべき年である。ひとくちに三十年というけれども、その間の関係者の努力は並々のものではない。三十年間、黙々としてユネスコ活動に献身された方々には深甚の謝意を表したい。また、これを契機として、更に四十年、五十年とユネスコの活動が、地道に、着実に継続していくことを希求したい。そもそも、ユネスコは、国連の一機関として一九四六年（昭和二十一年）戦後すぐに結成され、日本は一九五一年（昭和二十六年）に加盟し、世界的にもユネスコの有力メンバーとして

会長も選出されている。

広島に民間ユネスコ活動の組織が結成されたのは、一九四九年（昭和二十四年）のことで、日本が加盟するより以前に民間ユネスコ活動が展開されていたことになる。この団体は広島ユ

ネスコ協会と称されていたが、昭和三十五・六年ごろ一度消滅した。そして現在の協会につながる広島ユネスコクラブが発足したのが一九七三年（昭和四十八年）で、翌年このクラブが広島ユネスコ協会と名を改めた。したがって、広島ユネスコ協会からは五十五年となるが、今の組織からいえば三十周年ということになる。

ネスコ協会と称されていたが、昭和三十五・六年ごろ一度消滅した。そして現在の協会につながる広島ユネスコクラブが

広島は世界最初の被爆都市であり、今なお核の脅威の絶えない世界において、ノー・モア・ヒロシマズの精神にのっとり

て、ユネスコの精神、とくに、「戦争は人の心の中で生まれるものであるから、人の心の中に平和のとりでを築かなければならない」のことはどおり、活動を広めていかなければならない。こうした広島への願いが通じたのか、原爆ドームが世界遺産に登録され、更に歴史的に貴重な文化遺産である厳島神社も登録され、広島にもユネスコ協会が発足した。

**◁30周年記念事業(案)▷**

本年、協会結成三十周年を迎えて、結成記念日（6月28日）を中心に記念事業を展開してまいります。会員のみならずのご参加、ご協力をお願いします。

**〈記念講演〉**  
講師 山崎 朋子さん  
テーマ 「広島・アジア・女性」(仮)  
日時 6月28日(土) 14:30  
会場 県民文化センター・ホール

◇山崎朋子講師◇  
一九三二年長崎県生まれ。小学生時代、潜水艦長の父の都合で呉市へ。その後広島市へ。同市から田舎へ疎開した翌日、旧友の半数を原爆で失う。広島第二県女卒後、女給、モデル、教師。結婚後長女出産して女性史研究を始める。「サンタカン八番娼館

〈底辺女性史序章〉(大宅ノンフィクション賞) 他著書多数。

**〈記念パーティー〉**  
日時 6月28日(土) 17:00  
会場 鯉城会館

**〈記念誌発行〉**  
機関紙合本(創刊50号)、年表、ほか。260頁  
〈会員増強〉  
目標 200名(現在160名)

**三十周年実行委員会**  
委員長/木村進匡副会長、各部長会長および組織部会理事全員

第五回広島ユネスコ活動奨励賞受賞者と活動内容

学校・団体 (代表者)	分野	活動内容	対象国・地域	活動開始
安西小学校(田坂 明)	文化交流 国際理解	重慶市樹人小と 姉妹交流	中国	85年
南観音小学校(島崎好夫)	国際交流	学校間交流 ホームステイ	タイ・ バンコク市	93年
安佐中学校(中柳秀司)	ボランティア 教育支援	空缶回収で 学校建設	ネパール	99年
ひろしま翼の会(日高道徳)	姉妹都市の 交流・紹介	行政の交流・ 啓発事業支援	中国、米 カナダほか	93年
広島国際文化芸術研究会 (白井史朗)	芸術文化の 国際交流	芸術作品展示 作家交流	韓中英米仏伊独 アルゼンチン	90年
ぎおん日本語教室(岡本易子)	日本語教室	在日外国人の 日本語学習	フィリピン タイほか	91年
ナマステ INDIA (小林純子)	「平和」交流	現地 NGO 支援・交流	インド	97年

第五回広島ユネスコ活動奨励賞  
受賞団体決まる

国際平和文化都市広島市における国際理解、国際交流、国際協力の優れた活動を顕彰する本年度の第五回活動奨励賞(広島ユネスコ協会主催、広島市教育委員会後援)は、このほど行われた審査(審査委員長/広島大学大学院国際交流研究科中山修一教授)の結果、学校・社会両部門の受賞者が別表のとおり選ばれました。

なお、受賞団体には、一月十日開催の「ユネスコ新春フェスタ2003」の第一部で表彰式が行われ、賞状と賞杯が贈られます。

今回の受賞団体を含め第一回からこれまでに受賞した団体は学校部門では小学校九校、中学校三校、高校四校、社会部門は二十団体となり、国際平和文化都市・広島市の市と市民の国際活動を発展させるうえで、ユネスコ活動奨励賞(広島ユネスコ協会主催、広島市教育委員会後援)が果たす役割は少なくありません。

ユネスコ新春フェスタ  
1月18日、弦の調べとともに

広島ユネスコ活動奨励賞の表彰式と新春にふさわしい音楽イベントで彩る恒例の「ユネスコ新春フェスタ」。今年はその五回目を迎えて開かれます。

広島ユネスコ協会の発足二十五周年を記念して一九九八年に始まったこの行事は、これまで毎回、活動奨励賞受賞団体の活動を讃え、その成果を共有するとともに、毎年、広島市の第一線で活躍中の音楽芸術家の優れた演奏を鑑賞し、会員、市民共々初春のひとつときを過ごしてまいりました。本年は広島交響楽団の方々による室内楽をお届けいたします。

誘い合ってお出かけください。  
(日時) 1月18日(土) 14時

〈会場〉広島アンデルセン  
〈内容〉第一部/表彰式。第二部/弦楽四重奏「アイネ・クライネ・ナハト・ムジーク」  
他/バイオリン伊達万浩・掛

参加報告

市民ボランティアが主体となつて行う「あせろべニ〇〇二」が、去る十月十三日(日)午前十時から中央公園芝生広場で開催され、大勢の人で賑わいました。

広場には六十団体が参加し、ステージを取り囲み国際色豊かな各国の支援団体のブースが立ち並びました。

ステージでは、各国の民族衣装をまとつての踊りやコーラス、太極拳、また、新たに神楽やフラダンス、地元小学校による演奏などが披露されました。各コーナーにおいては、お国自慢の料理や民芸品などが展示・即売されました。

中央には木のミニユメントが作られ、子どもたちが自由に遊んだり、また、丸太切り競争などが行われ、交流を深めました。

広島ユネスコ協会では恒例によって「子どもの伝承遊びコ

本麻里、ピオラ伊達真帆、チエロ森純子(敬称略)  
〜入場無料〜  
〈主催〉広島ユネスコ協会  
〈後援〉広島市教育委員会

来年はこのイベントが二十周年を迎えます。当協会として今後どういった交流、協力ができるか考えていきたいと思っております。  
(理事 國田 繁)





本年度の中国ブロック・ユネスコ活動研究会は、山口県青年

ユネスコ連絡協議会の主管で十一月十六・十七日、下関市で開かれ、当協会から北川会長、木村副会長、清水・梶井両理事が出席し、全体会議、また世界遺産、協会の活性化、国際理解・交流・協力の分科会に参加しました。ここでは、清水理事の報告を紹介しします。

なお、来年の研究会は広島県での開催（東広島ユ協主管）が確認されました。

〈参加報告〉

今回、私の出身地及び出身団体である山口県青年ユネスコ連

絡協議会が主催とあって参加させていただきました。

この会議には、国際色豊かなユネスコらしく分科会の国際部の助言者として韓国ユネスコ国内委員会事業部長の李銃宰さんが参加されていました。

さて、初日のプレゼンテーションで連盟事務局の荒井さんより各ユ協の全国組織の現状、特に、青年層の状況について話がありました。現在、青年の組織率は一〇程度でありそのことにより今年二月に日青ユ協が発展的解散になりましたが、これにより青年活動が衰退したわけではなく、現在は各協会ごとの点として青年が活動されているという強い報告がされました。

その後の四分科会（世界寺子屋運動・世界遺産と絵画展・ユネスコ協会の活性化・国際「理解、交流、協力」のうち私は

ユネスコ協会の活性化班に梶井理事と参加しました。活性化班は再度二班に分かれ、私の班では、岩国ユ協青年部の平岡さんの司会、村田中国ブロック会長の助言のもと、今後のユネスコ

活動の話し合いました。いろいろの話の中で、村田会長より「ユネスコ活動は寺子屋運動・世界遺産が目玉である。」又、津山ユネスコからは、「広島県は世界遺産が二つもある。これほどうらやましい事はない。」等の意見ができました。私にとつては実のある分科会でした。

最後になりましたが、この広島何をすべきか、青年は何をすべきかを考えなくては行けないと思います。やはり目標を決めないと対外的に訴えることが出来ないかと思えます。そこで、この分科会での村田会長の「ユネスコ活動は寺子屋運動・世

界遺産が目玉である。」津山ユネスコの「広島県は世界遺産が二つもある。これほどうらやましい事はない。」等の発言、さらには、二〇〇〇年の中国ブロック研究会の広島市立大学国際部の川田順造教授の講演から「継承すべきは遺産ではなくそれを保護する人間である。」との言葉を思い出し、ひよっとしてこのことを青年的に具体化すれば今後の広島ユ協の青年活動にプラスになるのではないかと確信しました。（理事 清水昌法）

青年対象のハンゲル講座終了

青年たちがユネスコ活動を理解し、気軽に参加していただくとうと、青年を対象にハンゲル講座「はじめてのハンゲル」を青少年センターと共催して、去る十一月二十日から毎週金曜日（全五回）に開催いたしました。

初心者を対象としたこの講座に十六名の申込みがありました。

この講座は韓国の文化や生活習慣などについて理解を深めるとともに、簡単なハンゲルを身につけて在広、来訪韓国人をもてなし、交流を図ることをねらいとしました。

講師の広島大学院生・李玉花

先生の教え方はやさしく、丁寧で分かりやすいため、受講生には親しみが持てるようでした。

四回が終了し、アンケートを取ったところ、回数が少ない、引き続きやってみたいといった回答が殆どでした。皆さんの意向に添える工夫が必要です。（理事 國田 繁）

「国際交流・協力の日」に参加

去る十二月八日（日）に、広島国際会議場を主会場とする第三回「国際交流・協力の日」が開催され、様々な催しが展開されました。当協会も、これまでと同じように、実行委員会に参画し、寺子屋運動と世界遺産の展示パネル（日本ユネスコ協会連盟制作）を展示しました。

（世界遺産の写真パネルでは、広島平和文化センター国際交流・協力課の西山主幹から素晴らしい写真も借用）当日は、北川会長、梶井事務局長、藤井常任理事が、入場者へ説明し、また質問に答えました。

来年度の開催日は平成十五年十一月二十六日と決定しており、愛称も、公募審査の結果、「地球村」とされております。

（国際交流平和担当理事 藤井正二）

知っておきたい韓国講座  
～広島と韓国の絆を探る～

広島が韓国とどのように関わり、交わってきたかを「正」と「負」の両面で検証・考察することを通じてより深い相互理解と友好の促進を目指します。

・日時 2月22日(土) 10～17時  
23日(日) 9時半～13時半

・会場 広島市留学生会館  
・内容 ◇韓国人の氏名・日本人の名前／大邱ユネスコ副会長李洪植◇広島にある朝鮮の文化財／李恩和◇韓国の食文化（実習）／裴学泰・料理研究家◇シンポジウム◇ほか  
・定員 50名  
・費用 材料費(2,000円)

【申し込み】八ガキに住所・名前・電話番号を記入のうえ広島ユネスコ協会（広島市東区牛田新町1-8-3 牛田公民館気付）へ。定員になり次第締切り。

主催／広島ユネスコ協会  
共催／広島平和文化センター  
後援／広島市教育委員会  
広島県日韓親善協会

# ユネスコ英会話教室 第2弾終了

簡単な日常英会話を身につけ、来広、来訪外国人をおもてなししようと、昨年に引き続き、去る九月二十日から十月十八日まで、毎週金曜日よる六時三十分から「ひろしまを英語で話そう」(全五回)を青少年センターで実施しました。

今回、定員三十名に対し三十一名(内、男性三名)の申込みがありました。

青少年センターとの連携事業として実施し、開講式には青少年センター中道館長をはじめ、広島ユネスコ協会から亀井事務局長、平岡組織部会長、清水理事に出席いただきました。

あいさつの後、受講生にユネスコの趣旨や活動について理解していただくため、機関紙「ユネスコ」や原爆ドーム絵ハガキ等を配布して説明しました。

オリエンテーションでは、開講にあたっての諸注意に続いて、講師のひろしま通訳ガイド協会上平由紀子先生を紹介し、第一回の講義(演習)に移りました。

二回目からは、自分の行って

みたいところを調べ、それを英語で発表するなどして毎回、適度な緊張をもって学習を行いました。上平先生の話しはおもしろく、教室生は次第に和み、楽しい雰囲気の中で会話が弾んでいました。

講座が終了後、自主グループ(七名)となり、各自がテーマを持ち寄って英語で討論を行ったり、オーストラリアの青年と交流を行ったりしています。

今後は、昨年度の参加グループの方にも加わっていただき、できれば、外国人との交流の場を持つなど魅力あるグループをめぐり、一緒に考えていきたいと思えます。

【定例会】  
毎月二・四金曜日 午後七時から青少年センターで  
(理事 國田 繁)

書き損じハガキ  
キャンペーンに参加

日ユ協連が全国へ呼びかけて展開するキャンペーンに、当協会も本格的にとりくみます。

書き損じハガキは、最終的に現金に換えられて世界寺子屋運動の資金となり、識字運動、教育支援に役立てられます。

日ユ協連のハガキ受付期間は  
一月二十日～三月三十一日で、  
日ユ協連が着払いで送料を負担

人権啓発フェスタに参加

平成十四年度人権啓発フェスティバル広島会場／ヒューマン・フェスタ02が、十二月七八日、県立体育館で開かれた行事に、当協会はユネスコ活動紹介パネル(日ユ協連制作)を展示して参加しました。主催は法務省、文部科学省、広島県・県教委、広島市・市教委、協賛・日ユ協連など。

## 日誌

### 8月

9日 12日 全国高校ユネスコ研究大会(藤原理事、高校生参加、大阪)

17日 30周年企画会議(正副会長・30周年企画委員)

10日 12日 大邱高校生訪問団  
来広(徐副会長ほか32名)

11日 平和の鐘(大邱訪問団・比治山女子高ほか、平和公園)

### 9月

15日 第55号機関紙「ヒロシマユネスコ」発行

2日 人権啓発フェスティバル会議(大和理事、亀井事務局長出席)

10日 国際交流協力の日実行委員会(藤井正一理事出席)

20日 第2期「ひろしまを英語で話そう」講座開講

### 10月

1日 活動奨励賞募集開始

12日 世界遺産保護・継承事業シンポジウム(後援・出席。県立美術館)

13日 ペアせろべ参加(広島市中央公園)

18日 人権フェスティバル会議(太鼓矢理事、亀井事務局長出席)

### 11月

16日 17日 中国ブロック・ユネスコ活動研究会(北川会長、木村副会長、清水・梶井理事出席、下関)

20日 はじめてのハンゲル講座開講(広島市青少年センター)

26日 国際交流協力の日実行委員会(藤井正一理事出席)

30日 第一〇七回ユネスコ・サロン「物としての映画」/広島市映像文化ライブラリー・佐藤武主任(国際会議場)

### 12月

7日 8日 人権フェスティバル(県立体育館、出席)

8日 国際交流・協力の日(国際会議場、出席)

14日 活動奨励賞審査(中山修一理事ほか、広島市青少年センター)

14 15日 全国高校ユネスコ教職員研修会(藤原理事、東京)

## 予定

### 1月

18日 ユネスコ新春フェスタ2003(14時、広島アンデルセン)

15日 サロン、理事会

22日 23日 知っておきたい韓国講座(留学生会館)

### 2月

▽六三四コンサート(中国放送ほか主催、10月、福山)▽14年度世界遺産保護・継承事業「シンポジウム」(広島県教育委員会ほか主催、10月)▽第2回大邱・光州・広島女性作家交流展(大邱文化芸術会館主催、10月、大邱文化芸術会館)▽西谷勝輝韓国展(大邱Y.M.C.A.主催、11月、大邱文化芸術会館)

### 名義後援行事

▽六三四コンサート(中国放送ほか主催、10月、福山)▽14年度世界遺産保護・継承事業「シンポジウム」(広島県教育委員会ほか主催、10月)▽第2回大邱・光州・広島女性作家交流展(大邱文化芸術会館主催、10月、大邱文化芸術会館)▽西谷勝輝韓国展(大邱Y.M.C.A.主催、11月、大邱文化芸術会館)